

令和7年度 萩野小学校 特色ある学校づくり推進事業 計画書

※分野【a : 国際交流・国際理解、b : 地域連携、c : 自然体験、d : 環境教育、e : 学力向上、f : 交流体験、g : 福祉・ボランティア、h : 伝統文化、iその他（ ）】から選ぶ。

テーマ	ふるさとを愛し、未来を拓く、萩野っ子の育成 サブテーマ -地域や萩野の自然を効果的に活用した体験活動通过对-	分野	f	交流体験
学校づくりの視点（ねらい）	<ul style="list-style-type: none"> ○地域や自然と関わりを重視し、ふるさとを愛する子どもを育てる。 <ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間や自然体験学習に生かす工夫（絵本作家とともに活動する体験活動など） ・学区内にある通称三角山登山を行い、自らの目標や将来の夢を叫ぶ。→キャリア教育との関連 ・三角山の登山道を保護者、地区の方とともに整備する。 →地域の方々に三角山の存在を知っていただき、一緒に山登りもしていただく。 ○地域共働本部と連携をし、地域活性化につながる活動を行う。（米づくり体験、しょうゆづくり体験） <ul style="list-style-type: none"> ・米づくり並びにしょうゆづくり体験は専門性の高い講師を招聘し、児童の興味関心を高めていく。 	その他		
活動内容・計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 各教科、領域において体験活動との関連を重視した授業の工夫をする。 <ul style="list-style-type: none"> ○生活科、道徳科、総合的な学習の時間等において体験活動に関する情報を習得し、体験のみで終わらせず、継続的な活動ができるよう工夫する。（年間） 2 地域や自然とのかかわりを重視した体験活動を行い、地域にその成果を発表する。 <ul style="list-style-type: none"> ○縦割り班で三角山に登り、山頂で年度当初の目標（4月）将来の夢（1月）を地域住民、保護者と共に山頂で強く主張することで誓いや決意をたてる。 ○絵本作家を招き、足助川で魚とりなどの川遊びを通して身近な地域の自然に親しむ。（9月） ○クラブ活動において地域講師を招き、子どもたちと交流活動をする。（4月～1月） ○地域共働本部と連携をし、しょうゆづくり、田んぼ体験など地域活性化につながる活動をする。（4月、5月、10月、2月） ○年度末の公開授業や学校だよりなどで、総合的な学習や生活科で行った地域での体験活動の報告をする。 3 東広瀬小学校との都市と山間の教育交流を継続して行う。 <ul style="list-style-type: none"> ○児童が体育や生活科、特別活動などを通じて交流（9月、12月） 4 地域や自然とのかかわりを重視した体験活動を行うための環境整備、美化活動を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ○三角山整備活動（12月） 			
補助員配置	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館司書 ・校内整備員 			
実績・期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ○地域共働本部協力のもと、環境整備の充実に向けて、多くのボランティアとの協力、交流が得られる。 ○充実した体験活動を通して、地区の自然や人々を愛する心豊かな子どもに育つ。 ○様々な体験活動を通して、地域との交流を深めながら母校の歴史に興味関心をもつことができ、また愛校心を高めることができる。 ○PTA総会や自治区総会、保護者会、一日入学等で特色ある学校づくり推進事業についての説明を行うことにより、活動についての理解を得ることができる。 ○ホームページや学校だより、学級通信で本校の特色ある学校づくり推進事業の活動を紹介し、本校の自然体験活動や図書館教育についての取組を伝えることができる。 			
検証方法	<ol style="list-style-type: none"> 1 体験活動の参加者（児童・教師・保護者・地域住民）へのアンケートを実施する。 2 本校の特色ある学校づくり推進事業について保護者アンケートを実施する。 3 6月と2月に行う学校運営協議会や行事後の学校運営協議会委員からの意見により検証する。 4 特色ある学校づくりに関連する諸行事にボランティアとして積極的に関わってもらい、聞き取り調査をする。 			